

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」船橋校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 6日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは楽しんで通所している。	活動プログラムを無理やり実施するのではなく、お子様のその日の様子に合わせて活動を実施し、お子様が楽しむことを第一にしております。	引き続き、お子さま、保護者様との信頼関係を築きながら「楽しんで通える場所」と思ってもらえる事業所を目指していきます。
2	固定化されない支援内容を提供している。	こどもが常にも楽しめるように内容を固定化せず、色々な方法でアプローチできるように活動プログラムを作成しています。	引き続き、お子さんの成長や興味関心の変化に柔軟に対応し、必要に応じて個別支援計画を見直していく。
3	こどもと保護者のニーズに合った個別支援計画を作成し、個別支援計画に沿った支援が出来ている。	5領域の項目を個別支援計画に組み込み、個別支援計画の内容に沿って様々なプログラムを実施しております。	引き続き、児童発達支援計画に沿った運営ができるよう心掛けてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるため、バリアフリー化などに対応していない。	2階に上がる際に手段が階段のみであるため、ご利用者様たちからも不安に感じてしまう要因であります。	階段の上り下りのサポートが必要な場合、お迎えの際に職員が階段前に配置をし、安全考慮に図りながら安心して通所できる環境を提供してまいります。
2	活動スペースが狭い。	法令遵守に基づいてスペースの確保しているが、その空間で出来る活動の幅が狭まってしまっています。	パーテーションなどを外し、広い空間で活動が取り組めるよう配慮しつつ、安全に行える環境を提供してまいります。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	活動時間内に外出をする機会が少なく、個別療育を実施しているため機会が少ないです。	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流機会が持てるよう、模索してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」船橋校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 18

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	0	0	他の事業所と比べるとコンパクトだともう。	他事業所様と使用目的が異なる場合がございますが、パーテーションなどを取り外して広い空間を取ることも可能でございます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	5	1	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	1	職員の方によって専門性のある支援の程度に差はあるかなと思います。	職員間での共有の時間を設けており、支援の差がつかないように努めています。引き続き、支援の質の向上に向けて努力いたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	5	0	1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	4	8	他施設との交流はないが、きらり内での同年代との交流がある。	現在、他施設との交流の実施予定はございません。今後検討させていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	7	0	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	2	7	実施しているか分からない。	現在、実施予定はございませんが、ご要望がございましたら随時開催いたしますので、ご相談ください。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	5	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	4	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	きらかに通うことをとても楽しみにしています。	お子様が楽しく通所できるようなプログラムをご提供できるように、引き続き努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	いつも丁寧なご指導ありがとうございます。	いつもご理解の上、ご利用いただきありがとうございます。何かご意見・ご要望がございましたらお気軽にお申し付けください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」船橋校		2025 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		粗大運動をする際はパーテーションを外し、広いスペースで取り組んでいます。	大きなスペースがないため、小集団などのスペースの確保が難しい状態です。パーテーションを外しながら少しでも広いスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	人員不足の際は他校舎からヘルプ要請をし、人員確保を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		校舎が2階にあるため、階段は補助が必要な際はサポートの方させて頂いています。	バリアフリー化は基本的にされていません。その為、ご利用者様に付き添いながらサポートの方させて頂いております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間でPDCAサイクルを共有しております。	シフト勤務のため当日公休日の職員は、引き継ぎ書を用いて、共有できるように取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度実施する保護者からの事業所評価をもとに、頂いたご意見に対し事業所内で話し合い、出来るところから改善に向けて努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間での1on1を定期的に行っております。また、意見の中で業務改善に繋がるような工夫をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修・外部研修ともに受講の機会を設けております。	引き続き、内部研修・外部研修ともに受講できる機会を増やしていき、より良い支援の提供ができるように精進して参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		フィードバックの時間やアセスメントを通して課題を理解し、分析を行い、計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全体に共通理解することは共有する時間を設けており、こどもの最善の利益を考慮しております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿った活動プログラムを取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		指導員間でしっかりと情報を共有し、支えながら日々支援を行っています。また3カ月～6か月を目標にモニタリング会議を実施しています。	

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	以前の支援記録を確認し継続支援の下、実施しているプログラム以外は内容が被らないよう配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	基本的に個別活動が多く、集団活動はあまり行っていないが、お楽しみの時間で集団で関わる時間を設けております。	集団活動も希望があれば定期的に実施をしていく予定です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の支援の記録から指導員同士で改善点等を共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	利用児童に対し少なくとも半年に一度は計画の見直しを行う為、定期的にモニタリングの時間を確保し支援方針の見直し・振り返りを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	ご希望に沿い、ご利用者が通園している園へ訪問させていただき、支援の状況等を共有させていただいております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	ご希望に沿い、進学先への情報共有を実施しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○	外部の研修にも参加する機会を設けております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援後のフィードバック時に、支援の様子や最近のお子さんの様子を話し、保護者との情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニング研修などへの参加を検討しスキルアップに心がけてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規定、支援プログラム、利用者負担の説明は基本的に児童発達支援管理責任者・管理者が丁寧に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者から児童発達支援計画を得て、支援内容の説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後にはフィードバックにて最近の困りごとなどを共有させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備しており、苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応を行っています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやInstagram等のSNSを活用しております。定期的に発信をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いは細心の注意を払いながら管理を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員には研修を実施をしています。保護者様には閲覧できるようにファイリングし待合スペースに置いてあります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月1回防災訓練を実施し、訓練計画書・訓練報告書を事業所内に掲示してあります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者様に確認を取り、全職員が周知を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事提供はございませんが、契約時にご利用者様のアレルギーの有無を確認をし、該当物質との接触が起こらないよう留意しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		ご利用者様に安全にご利用していただくため、安全施策の作成・訓練を定期的の実施を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に保護者様に説明を行い、ご理解の上ご利用していただいております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が出た際に、報告書の作成・保管・職員間で共有をし、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者様に契約時に説明を行った上、個別支援計画に記載をし了承を得ています。	